

# 音声教材について

令和7年度  
音声教材普及推進会議  
文部科学省初等中等教育局教科書課

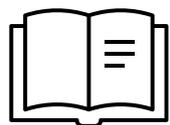


文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# 教科用特定図書等について

検定教科書など

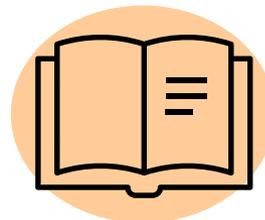


児童生徒

読むのが  
難しい...



検定教科書の代わりに  
**拡大教科書**や**点字教科書**  
を使用

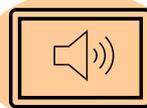
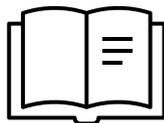


児童生徒

大きな文字や  
点字で読める!



教科書に加えて  
**音声教材等**を使用



児童生徒

音声教材が  
読む助けになる!

## 音声教材とは

- 発達障害等の障害や日本語に通じないことにより、通常の検定教科書で 사용되는文字や図形等を認識することが困難な児童生徒に向けた教材。

※視覚障害や肢体不自由等、発達障害以外の障害であっても、「障害により教科用図書に掲載された著作物を使用することが困難\*」である場合には提供の対象となる。

\*著作権法第33条の3第1項

- 文部科学省から委託を受けた団体等が製作し、読み書きが困難な児童生徒等に、原則として無償で提供している。

- 教科書の内容を音声で読み上げるほか、読み上げる箇所のハイライト表示や文字の拡大縮小をはじめ、教材によって様々な機能・特色がある。児童生徒の困難の状況に合った教材を選択することが可能。

## 目的（第1条）

- 教育の機会均等の趣旨にのっとり、障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等を図る
- 児童生徒が障害その他の特性の有無にかかわらず、十分な教育が受けられる学校教育の推進に資する

## 教科用特定図書等の定義（第2条）

- 視覚障害のある児童生徒の学習の用に供するため、文字、図形等を拡大して検定教科書を複製した図書 → 拡大教科書
- 点字により検定教科書を複製した図書 → 点字教科書
- その他障害のある児童生徒の学習の用に供するため、作成した教材であって検定教科書に代えて使用し得るもの → 音声教材等

## 法改正（令和6年6月19日公布・令和6年7月19日施行）の概要

- 教科書の内容を音声化した音声教材は、使用者が随意に教科書の音声情報を入手できる機能を持つこと等から、日本語指導が必要な外国人児童生徒等の抱える困難を軽減させるためにも有効とされている。
- 音声教材は障害のある児童生徒を対象として作成されており、外国人児童生徒等は音声教材を使用して学習することができないため、外国人児童生徒等が音声教材を使用して学習することができるよう、改正が行われた。
- 法改正により、当分の間、文部科学大臣等は、音声教材等の教科用特定図書等を発行する者が障害のある児童生徒及び日本語に通じない児童生徒の両者の学習の用に供するために教科用特定図書等を発行する場合にも、教科書デジタルデータを提供することができるようになった。

従来まで音声教材の提供対象だった障害により検定教科書の使用に困難がある児童生徒に加え、日本語に通じない児童生徒についても音声教材の提供が可能となりました。  
より多くの児童生徒の困難を軽減させるために、提供対象の拡大について積極的な周知をお願いいたします。

# 教科書デジタルデータを活用した拡大教科書、音声教材等普及促進プロジェクト

令和7年度予算額

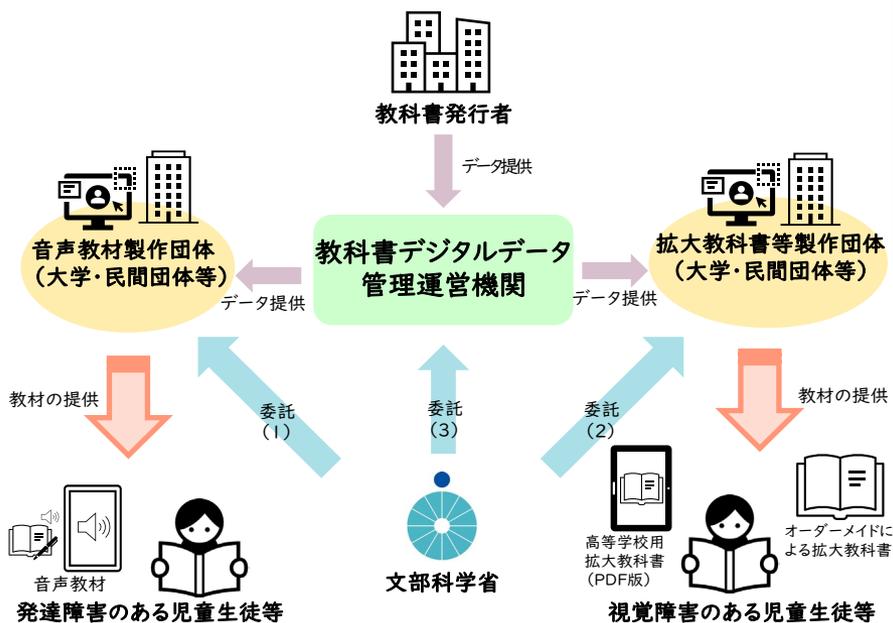
2.1億円



文部科学省

## 趣旨

「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」等を踏まえ、発達障害や視覚障害等のある児童生徒が十分な教育を受けられる環境を整備するため、教科書デジタルデータを活用した音声教材等に関する効率的な製作方法等や高等学校等における拡大教科書の普及促進等について、実践的な調査研究を実施するなど、障害のある児童生徒の自立・社会参加の加速化に向けた特別支援教育の一層の強化に取り組む。



### (1) 障害のある児童生徒等のための教科書デジタルデータを活用した音声教材の効率的な製作方法等に関する調査研究

- 音声教材の効率的な製作方法等に関する調査研究  
音声教材の効率的な製作方法及び提供方法等に関する調査研究を実施。成果物である音声教材を、必要とする児童生徒等へ提供。
- 音声教材普及推進会議  
教育委員会等を対象とした会議を開催し、音声教材の普及推進を図る。

### (2) 高等学校等における拡大教科書の普及促進等に関する調査研究

- 特別支援学校高等部等における教科書デジタルデータ活用に関する調査研究  
高等学校において、タブレットPCなどの情報端末においてPDF形式の教科書デジタルデータを活用し、拡大教科書と同等に使用しうるための諸条件等に関する調査研究を実施。成果物である高等学校用拡大教科書(PDF版)を、必要とする生徒等へ提供。

### (3) 教科書デジタルデータ提供等推進事業

- 教科書デジタルデータの変換・管理運営  
教科書発行者から教科書デジタルデータの提供を受け、データ形式の変換等を行った上で、拡大教科書や音声教材等を製作する団体へ提供。

## 成果

- 拡大教科書、音声教材等の製作の効率化により、製作団体等の負担を軽減し、児童生徒へ着実に教材を提供。【上記(1)～(3)】
- 音声教材について、普及推進会議により学校・教育委員会等へ周知徹底。発達障害等のある児童生徒が音声教材にアクセスしやすい環境を整備。【上記(1)】
- 高等学校等における拡大教科書(PDF版)の普及促進。【上記(2)】

担当：初等中等教育局教科書課

# 発達障害のある児童生徒の学習上の困難さについて

発達障害のある児童生徒については、

- ・「読む」「書く」「聞く」「計算する」などの学習に必要な能力の習得が困難
- ・著しく注意力がない
- ・著しく多動性・衝動性がある

など、一人一人について障害の状態が異なり、教科学習等に大きな困難を抱えている。

## 【読むことが困難な例】

知的や視覚・聴覚に問題はないが、

- ・文字を認識することが難しく、流暢に読めない
  - ・長い文章を正確に早く読むことが難しい
  - ・音読が遅い
  - ・逆さ読みをする（「36」→「63」など）
  - ・字の形を混同する（「はし」→「ほし」など）
- など、児童生徒によって様々な困難があります。



# 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする 児童生徒に関する調査結果(令和4年)

表4 質問項目に対して学級担任等が回答した内容から、「学習面、行動面の各領域で著しい困難を示す」とされた児童生徒数の割合

<小学校・中学校>	推定値	(参考)平成24年調査
「聞く」又は「話す」に著しい困難を示す	2.5%	1.7%
「読む」又は「書く」に著しい困難を示す	3.5%	2.4%
「計算する」又は「推論する」に著しい困難を示す	3.4%	2.3%
「不注意」の問題を著しく示す	3.6%	2.7%
「多動性－衝動性」の問題を著しく示す	1.6%	1.4%
「対人関係やこだわり等」の問題を著しく示す	1.7%	1.1%

<高等学校>	推定値
「聞く」又は「話す」に著しい困難を示す	0.5%
「読む」又は「書く」に著しい困難を示す	0.6%
「計算する」又は「推論する」に著しい困難を示す	0.6%
「不注意」の問題を著しく示す	0.9%
「多動性－衝動性」の問題を著しく示す	0.2%
「対人関係やこだわり等」の問題を著しく示す	0.5%

※ 本調査は、学級担任等による回答に基づくもので、発達障害の専門家チームによる判断や医師による診断によるものではない。

したがって、本調査の結果は、発達障害のある児童生徒数の割合を示すものではなく、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の割合を示すことに留意する必要がある。

詳細な調査結果はこちら↓

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/2022/1421569\\_00005.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2022/1421569_00005.htm)

# 公立学校における日本語指導が必要な児童生徒数の推移

(小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、義務教育学校、特別支援学校)



(出典)文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」

# 音声教材の概要

※令和7年度「音声教材の効率的な製作方法及び普及促進に関する調査研究」  
受託団体によるもの

## マルチメディアデジター教科書 (公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会)

<https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext.html>

- 主な特徴: 専用のアプリケーションまたは端末のブラウザ機能(オンライン)で使用する。  
音声、本文等テキスト、挿絵等の図版を含む。ハイライト機能、ルビ表示機能等あり。  
音声は肉声及び合成音声。**視覚と聴覚から同時に情報が入り内容理解がしやすい**。  
小学校・中学校の教科書を中心に作成。
- Windows, iOS, Android, Chromeで使用可能。
- 利用者実績: 28,698人(令和6年度)



## ペンでタッチすると読める音声付教科書 (茨城大学)

<http://apricot.cis.ibaraki.ac.jp/textbook/>

- 主な特徴:  
パソコンやタブレット等のICT端末は使わず、**紙冊子と音声ペン**で使用する。  
紙冊子は通常の教科書と見た目がほぼ同じで、鉛筆等で書き込み可能。  
持ち運びしやすく、小学校低学年でも簡単に一人で操作できる。  
音声ペンで文字をタッチして読むことで意識が紙面に向き、能動的な読書になる。  
音声は肉声。小学校・中学校の国語・社会の教科書を中心に作成。
- 利用者実績: 1,101人(令和6年度)



## AccessReading (東京大学先端科学技術研究センター)

<https://accessreading.org/>

- 主な特徴: **Microsoft Wordや電子書籍リーダーのアクセシビリティ機能を使用**する。  
本文等テキスト、挿絵等の図版を含む。読み上げは合成音声。  
文字の大きさ、色の変更、ハイライト機能など、アプリの機能で様々な調整が可能。  
小学校高学年・中学校・高校の教科書を対象。
- Microsoft Wordまたは電子書籍リーダーが使用できるOSで使用可能。
- 利用者実績: 145人(令和6年度)



## UD-Book (広島大学)

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/ujima/onsei/index.html>

- 主な特徴: 専用のアプリケーションまたは端末のブラウザ機能(オンライン)で使用する。  
**固定表示(原本教科書に似せた表示)・行移表示(文字だけの表示)**の両方で、テキストを合成音声で読み上げる。固定表示・行移表示を同時に表示することや、固定表示では見開き表示をすることが可能。ハイライト機能、ルビ表示機能等あり。  
小学校・中学校・高等学校の教科書を対象。
- Windows, iOS, macOS, Chromeで使用可能。
- 利用者実績: 203人(令和6年度)



## 音声教材BEAM (NPO法人エッジ)

<https://npo-edge.jp/use-edge/beam/>

- 主な特徴: **音声のみの教材**(テキストや挿絵等の図版はなし)。  
MP3を再生できる全ての機器(パソコンやタブレット、スマートフォン、ICレコーダー等)で使用可能。音声は、肉声に近い合成音声。  
データ容量が軽く、操作が簡便で、耳からの情報に集中できる。  
小学校・中学校の国語・社会、中学校の理科、高等学校の国語・社会を中心に作成。
- 利用者実績: 112人(令和6年度)



## UNLOCK (愛媛大学)

<http://treasure.ed.ehime-u.ac.jp/unlock/index.html>

- 主な特徴: **パソコン・タブレット端末か音声ペンでの利用を選択可能**。  
音声ペンの場合、紙の教科書に再生用シールを貼って使用する。  
パソコン・タブレット端末の場合、音声データ(MP3)とテキストのPDF・EPUBを提供。  
音声は合成音声。児童生徒の障害特性や状態によっては、音声の種類(男女の声質・話し方)・再生速度の選択を相談可能。  
小学校・中学校・高等学校の教科書を対象。
- 利用者実績: 49人(令和6年度)



## 使用方法・ 対応OS

Windows, iOS, Android, Chrome

アプリケーションによる再生 (ダイジーポッド、ChattyBooks、いーリーダー、しゃべる教科書、ボイスオブダイジー5)、ブラウザ再生

## 教材の構成

テキスト、挿絵、音声

## 対応している 教科書

小学校 (全教科) 中学校 (全教科)

## 読み上げ 音声

肉声又は合成音声 (教材により異なる)

## その他の 機能

- ハイライト機能、ルビ表示 (総ルビ、教科書ルビ、学年段階ごと)、分かち書き (一部の教材で対応)、縦書き・横書きの変更、文字の拡大・縮小、文字色・背景色の変更 等
- 音声とテキストが同期し、画像も表示されることにより、視覚と聴覚から同時に情報が入り、内容理解がしやすい。
- 学習障害、発達障害をはじめ、多くの読みに困難をかかえている生徒に対応。

## サンプル

- 教材のサンプル <https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext.html>  
※上記ページの中ほどに公開しています。
- ブラウザ再生のデモ <https://mpf.jsrpd.jp/>  
デモ用アカウント情報 ログイン名:10025 パスワード:12345678

## その他の 情報

提供している教材リストを公開しています。

[https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext\\_r5.html](https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext_r5.html)



## 使用方法・ 対応OS

Windows, iOS, iPadOS, macOS, Android, Chrome  
DOCX形式: Microsoft Word  
EPUB形式: iOSのブック、Android, ChromebookのGooglePlayブックス等

## 教材の構成

テキスト、挿絵

## 対応している 教科書

小学校(高学年)、中学校、高等学校  
(いずれも地図、書写を除く)

## 読み上げ 音声

合成音声(リーダーの読み上げ機能を使用)

## その他の 機能

- 文字の大きさ、色の変更、ハイライト機能など、使用するアプリの機能で様々な調整が可能。
- Word版とEPUB版の2種類を作成。パソコン等のアクセシビリティ機能を使用する。

## サンプル

<https://accessreading.org/sample.html>

## その他の 情報

- 提供している教材リストを公開しています(月に1度更新しています)。  
[https://accessreading.org/e-text\\_list.html](https://accessreading.org/e-text_list.html)
- 音声教材情報提供サイトを公開しています。  
<https://accessreading.org/aem/>



## 使用方法・ 対応OS

MP3を再生できる全ての機器(パソコンやタブレット、スマートフォン、ICレコーダー等)で使用可能

## 教材の構成

音声

## 対応している 教科書

小学校(国語・社会) 中学校(国語・社会・理科) 高等学校(国語・社会)

## 読み上げ 音声

肉声に近い合成音声

## その他の 機能

音声のみの教材であるため、データ容量が軽く、操作が簡便で、耳からの情報に集中できる。

## サンプル

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLURmXYpULEEsDUAKa7UHNKLWj6pON5MP8>

## その他の 情報

BEAMに関する情報をYoutubeでご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLURmXYpULEEvmaghAChId7-3PZJn5IFIq>



# ペンでタッチすると読める音声付教科書（茨城大学）

教材についての詳細：<http://apricot.cis.ibaraki.ac.jp/textbook/>

## 使用方法・ 対応OS

紙冊子と音声ペン（パソコンやタブレット等は使用しない）

## 教材の構成

通常の教科書と見た目がほぼ同じ紙冊子、音声ペン（SDカードにデータを格納）

## 対応している 教科書

小学校（国語・社会） 中学校（国語・社会）

## 読み上げ 音声

肉声



## その他の 機能

- 紙冊子には鉛筆等で書き込み可能。
- 持ち運びしやすく、小学校低学年でも簡単に一人で操作できる。
- 音声ペンで文字をタッチして読むことで意識が紙面に向き、能動的な読書になる。
- 拡大版も提供可能。

## サンプル

インターネット上でのサンプル公開はありませんが、申請を検討中の方を対象に、音声付教科書の短期貸し出しを行っています。

<http://apricot.cis.ibaraki.ac.jp/textbook/rental.html>

## その他の 情報

- 提供している教材リストを公開しています。  
<http://apricot.cis.ibaraki.ac.jp/textbook/about.html>
- 初期費用として音声ペンの購入等が必要です。

## 使用方法・ 対応OS

Windows, iOS, macOS, Chrome  
アプリケーション(UD-Bookリーダー)(無料)による再生

## 教材の構成

テキスト、挿絵(全ての図表等)、音声  
固定表示(原本教科書に似せた表示)・行移表示(文字だけの表示)が可能

## 対応している 教科書

小学校 中学校 高等学校(それぞれ全教科)

## 読み上げ 音声

読み方を指定した合成音声

## その他の 機能

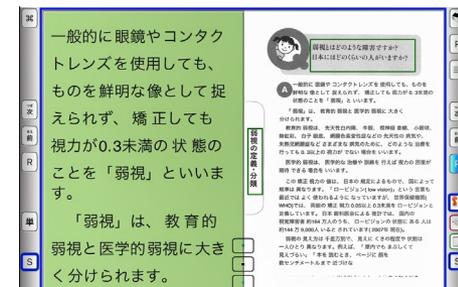
- 読み上げ、ハイライト機能、ルビ表示(総ルビ)、縦書き・横書きの変更、文字の拡大・縮小、フォントの変更、文字色・背景色の変更 等(固定表示は原本のレイアウトを保持するため一部機能に制限があります。)
- 固定表示、行移表示の同時表示。固定表示では見開き表示
- 線などの描き込み、テキストのメモ機能、ページ番号の指定表示等
- ハイライト領域サイズの長・短設定、音量・読み速度の設定 等

## サンプル

- 教科書ではない図書によるサンプル教材を提供しています。取得方法や使用方法等についてもホームページにて掲載しています。  
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/ujima/onsei/3riyohou.html>

## その他の 情報

- 導入時の読みの評価、導入後の授業での活用など音声教材の効果を最大化するための相談やサポートを実施しています。



# UNLOCK (愛媛大学)

教材についての詳細: <http://treasure.ed.ehime-u.ac.jp/unlock/index.html>

## 使用方法・ 対応OS

Windows, iOS, iPadOS, macOS, Android, Chrome  
音声はMP3を再生できる全ての機器で使用可能

## 教材の構成

テキスト、音声

## 対応している 教科書

小学校 中学校 高等学校(それぞれ全教科)

## 読み上げ 音声

合成音声(基本的には女性の声。ただし、児童生徒の障害特性や状態によっては、男性・女性、明るい声・落ち着いた声の選択は相談可能。)

## その他の 機能

- パソコンやタブレット端末、音声ペンにより利用可能。
- 音声ペンの場合は、音声のみの教材(紙の教科書に再生用シールを貼って使用)。
- パソコンやタブレット端末にて利用する場合、音声データと、テキストを表示するPDF・EPUBを提供。
- 児童生徒の障害特性や状態によっては、音声の種類(男女の声質・話し方)・再生速度の選択を相談可能。

## サンプル

音声のサンプルを公開しています。  
各端末の紹介・使用方法等についてもホームページにて掲載しています。  
<http://treasure.ed.ehime-u.ac.jp/unlock/paper.html>

## その他の 情報

学内のインクルージブ教育相談事業と連携し、導入時の読みの評価・導入後の授業での活用など、利用者・学校へのサポートを実施しています。



(参考) 主に視覚障害等のある児童生徒が活用する教材

※文字の拡大機能に重点を置いたもの

## PDF版拡大図書 (慶應義塾大学)

教材についての詳細:<https://psylab.hc.keio.ac.jp/DLP/>

使用方法・  
対応OS

iOS  
アプリケーション(UDブラウザ)(無料)による再生

教材の構成

テキスト、挿絵(全ての図表等)、音声  
教科書紙面のPDF表示、文字のみのリフロー表示が

対応している  
教科書

高等学校用教科書(全教科)

読み上げ  
音声

合成音声

その他の  
機能

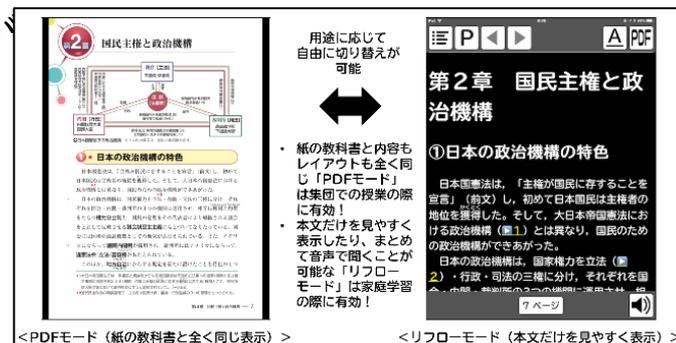
- iPadにより利用可能。
- 教科書紙面のPDFを表示する画面と、UDフォントでのリフロー表示機能がある。
- 特定のページへのジャンプ、書き込みやマーカーの使用、しおり機能等がある。

サンプル

機能等について、ホームページにて説明しています。  
<https://psylab.hc.keio.ac.jp/DLP/Intro.html>

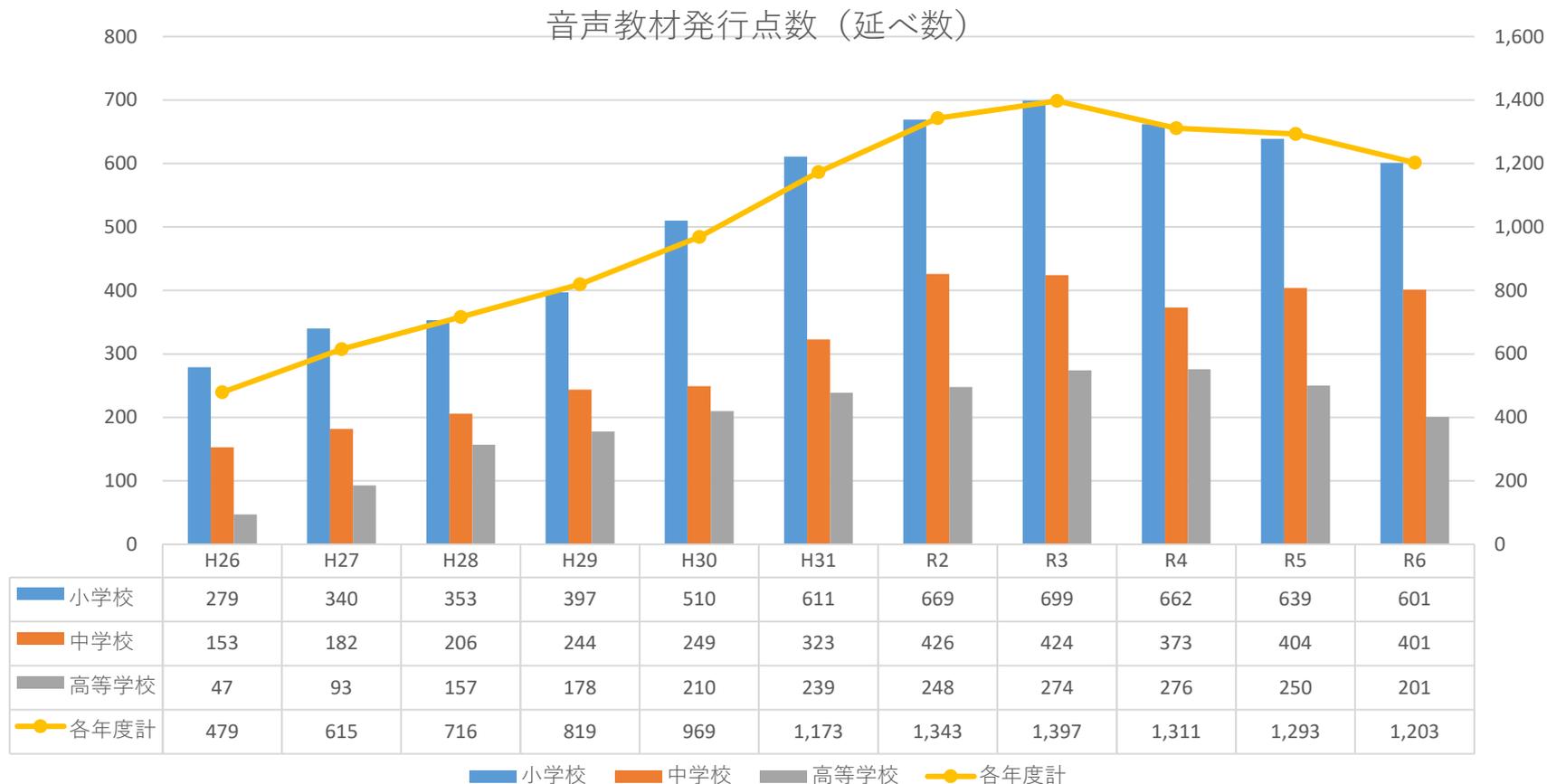
その他の  
情報

高等学校用教科書について、文部科学省初等中等教育局教科書課の委託事業により提供しています。別途、小学校用及び中学校用の教科書についても製作・提供を行っています。



# 音声教材の発行点数 推移

※文部科学省委託事業の受託団体による発行点数の合計



# 音声教材の提供人数 推移

※文部科学省委託事業の受託団体による提供人数の合計

(人)	H31	R2	R3	R4	R5	R6
小学校	11,208	13,799	14,318	18,143	22,519	25,673
中学校	2,165	2,579	2,754	2,877	3,438	4,510
高等学校	119	132	139	100	110	125
合計	13,492	16,510	17,211	21,120	26,067	30,308

※R6は日本語に通じない児童生徒を含んだ人数



# 令和7年度使用教科書に係る音声教材需要数調査結果

## ○都道府県別必要児童生徒数(小学校・中学校 合計)

都道府県名	障害による必要児童生徒数	日本語に通じないことによる必要児童生徒数	都道府県名	障害による必要児童生徒数	日本語に通じないことによる必要児童生徒数
北海道	228	70	滋賀県	790	203
青森県	19	8	京都府	663	41
岩手県	337	36	大阪府	3,183	545
宮城県	251	42	兵庫県	1,240	277
秋田県	32	8	奈良県	624	34
山形県	79	8	和歌山県	339	21
福島県	497	17	鳥取県	127	2
茨城県	1,403	332	島根県	335	77
栃木県	484	78	岡山県	276	53
群馬県	283	202	広島県	694	199
埼玉県	1,290	477	山口県	358	83
千葉県	606	378	徳島県	79	11
東京都	943	380	香川県	61	14
神奈川県	1,443	1,324	愛媛県	96	9
新潟県	1,325	70	高知県	151	28
富山県	407	95	福岡県	1,238	183
石川県	546	27	佐賀県	182	21
福井県	779	70	長崎県	410	42
山梨県	353	122	熊本県	783	75
長野県	1,902	162	大分県	408	34
岐阜県	967	185	宮崎県	243	18
静岡県	1,116	623	鹿児島県	633	27
愛知県	928	1,409	沖縄県	464	171
三重県	459	314	計	30,054	8,605



調査結果の詳細は、  
文科省HPにてご覧ください。  
上記二次元コードよりアクセス  
いただけます。

※令和6年10月(10月末日提出期限)

※必要児童生徒数とは、音声教材を必要とする又は  
必要と見込まれる児童生徒として学校等が判断した者の数。



地域により音声教材を必要とする児童生徒数にばらつき がみられる



日本語に通じない児童生徒の在籍状況には地域差があるが、障害のある児童生徒は全国に在籍していると推測されることから、音声教材の認知度向上や、音声教材を必要とする児童生徒の適切な把握・教材の提供が必要

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行され、学校現場においても「合理的配慮」が求められています。

合理的配慮や、「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」の趣旨に鑑み、ニーズのある児童生徒が在籍する学校等が学習に関する相談をした際に、教育委員会の担当部署が音声教材の存在を知らないがために学習機会の提供を妨げてしまうことがないよう、域内の学校等と連携し、音声教材の更なる活用促進をお願いいたします。

# 音声教材の提供を受けるには

- 音声教材の提供を受けるためには、音声教材を製作する団体に直接、利用申請を行ってください。
- 利用申請は、各団体で随時受け付けています。
- 各団体のホームページに申請方法等について案内が掲載されていますので、確認してください。
- 各団体のホームページへのリンクは、文部科学省HPにも掲載されていますので、下記URL又はQRコードから御活用ください。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/kyoukasho/1374019.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/1374019.htm)



- 音声教材の申請から提供までに要する期間等については、各団体により製作状況や提供状況が異なりますので、各団体にお問い合わせください。

音声教材はそれぞれ機能・特徴が異なります。

各団体のHP等においてもサンプルが提供されていますので御活用のうえ、それぞれの児童生徒の困難の状況に合った教材を選択してください。

# 音声教材の申請に必要な情報

申請に必要な情報は下記のとおりです。

- ◆ 提供を希望する教科書の種類
- ◆ 申請者（教育委員会・学校関係者・保護者等）の情報・連絡先等
- ◆ 使用者（児童生徒）の情報（学年・在籍学級・音声教材の利用状況）
- ◆ 使用者（児童生徒）の読みの困難の状況、日本語の力の状況

※以下のような項目のうち該当するものをチェックする

（読みの困難さの例）

読み誤りがある（不正確な読みをする）

逐次読みになってしまう（文字を一つ一つ拾って読んでしまう）

ひらがな・カタカナを読むことが苦手

漢字を読むことが苦手

単語の切れ目が分かりづらい

小さな文字を読むことが苦手 等

（日本語の力の例）

学校生活に必要な日本語の習得がはじまる

支援を得て、学校生活に必要な日本語の習得が進む

支援を得て、日常的なトピックについて理解し、学級活動にも部分的にある程度参加できる

等

# 音声教材についてよくある質問

音声教材に関してよくいただくご質問について、文科省HPに回答を掲載しています。  
下記のほかにもQ&Aを掲載していますので、ご覧ください。

## 質問一覧

### 1. 利用対象者

- [質問1: 音声教材使用の対象となる児童生徒の障害はどのようなものですか。](#)
- [質問2: 通常学級に在籍する児童生徒も使用することは可能ですか。](#)
- [質問3: 在籍している学年・学校より上の学年・学校の教科書の音声教材を使用することは可能ですか。](#)
- [質問4: 音声教材を使用するべきかどうかのアセスメントはどのように行えばよいですか。](#)
- [質問5: 音声教材を教員等が使用することはできますか。](#)
- [質問6: 音声教材は外国人児童生徒や帰国児童生徒も使用することは可能ですか。](#)

### 2. 音声教材の提供について

- [質問7: 音声教材を入手するためにはどのような手続が必要ですか。](#)
- [質問8: 音声教材の申請には、医師による診断書・意見書は必要ですか。](#)
- [質問9: 個人の申請の他、市町村教育委員会単位での申請のケースもあるようですが、そのような方法も可能ですか。](#)
- [質問10: 入手するための申請手続は、いつ行えばよいですか。](#)
- [質問11: 音声教材の使用に費用はかかりますか。また、準備する機器などはありますか。](#)

HPにも掲載されていないご不明点は、  
お近く教育委員会又は文部科学省まで  
お問い合わせください。

文部科学省HP

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/kyoukasho/1378518.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/1378518.htm)



文部科学省問合せ先：  
初等中等教育局 教科書課 教科用特定図書普及推進係  
03-5253-4111(内線4743)



# 音声教材に関する情報

## 文部科学省HP

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/kyoukasho/1374019.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/1374019.htm)



会見・報道・お知らせ | 政策・審議会 | 白書・統計・出版物 | 申請・手続き | 文部科学省の紹介

トップ > 教育 > 小学校、中学校、高等学校 > 教科書 > 教科用特定図書等(拡大教科書、点字教科書、音声教材) > 音声教材

### 音声教材

#### 音声教材とは？

発達障害等により、通常の検定教科書では一般的に使用される文字や図形等を認識することが困難な児童生徒に向けた教材です。パソコンやタブレット等の端末を活用し、教科書の内容を音声で読み上げる等の機能があります。

■ [音声教材の概要 \(PDF:789KB\)](#)

「音声教材の効率的な製作方法等に関する調査研究」受託団体のホームページ

文部科学省では音声教材の製作についての委託調査研究を実施しており、令和5年度には六つの団体が音声教材を製作し、必要な児童生徒に対して原則として無償で提供しています。

- [日本障害者リハビリテーション協会「マルチメディアデジ教科書」\(日本障害者リハビリテーション協会ホームページにリンク\)](#)
- [東京大学先端科学技術研究センター「Access Reading」\(東京大学先端科学技術研究センターホームページにリンク\)](#)
- [NPO法人エッジ「音声教材BEAM」\(NPO法人エッジホームページにリンク\)](#)
- [茨城大学「ペンでタッチすると読める音声付教科書」\(茨城大学ホームページにリンク\)](#)
- [広島大学「文字・画像付き音声教材」\(広島大学ホームページにリンク\)](#)
- [愛媛大学教育学部「愛媛大学UNLOCK」\(愛媛大学ホームページにリンク\)](#)

#### 音声教材普及推進会議

- ・ 音声教材の概要
- ・ 各団体のURLリンク
- ・ 音声教材普及推進会議の配布資料等
- ・ 音声教材に関するQ&Aなどを掲載しています。

本日の資料も掲載します。  
ご活用ください。

# 児童生徒のニーズに合った方法を!

